

平成30年度 事業報告

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

平成30年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、活性化関連活動として、with Dam★Night2018を東京の外、東北、中部・近畿、中国・四国、九州の各地で開催するとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページを運用した。

調査研究委員会では、8つの研究部会の下、研究活動を行った。また、交流研究事業として、3つの研究テーマを実施した。

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害に関して、9月に理事会の開催及び防災学術連携体での報告、並びに平成31年3月発行の「ダム工学」で技術報告を行った。

会員数は、平成30年度末現在、正会員・シニア会員は793名、学生会員は111名、賛助会員は51社となり、平成29年度に比べて、正会員・シニア会員は6名、学生会員は6名、賛助会員は1社の増加となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により着実に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

平成30年5月17日に通常総会を開催し、平成29年度事業報告及び収支決算、理事選任、監事選任について承認を得るとともに、平成30年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

- 第28回 通常総会
日時 : 平成30年 5月17日 14:00～
場所 : 星陵会館 2Fホール
出席者 : 439名 (うち委任状による出席者329名)
議題 : 平成29年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
理事選任、監事選任
報告 : 平成30年度事業計画及び収支予算
新任役員等の紹介

(2) 理事会

以下の通り理事会を4回開催した。

- 第71回 理事会
日時 : 平成30年 4月26日 13:00～14:30
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議題 : 第28回通常総会議案について
- 第72回 理事会
日時 : 平成30年 5月17日 15:00～15:20
場所 : 星陵会館 E会議室 (1階)
議題 : 会長・副会長の選出について
顧問の選出について
ダム工学会表彰委員会委員選出について
ダム工学会選考委員会委員選出について
理事の委員会委員委嘱について

- 第73回 理事会
 日時 : 平成30年 9月4日 13:30～15:00
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 報告 : 西日本豪雨災害に係る報告
- 第74回 理事会
 日時 : 平成31年 3月15日 13:30～15:00
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議題 : 平成31年度(2019年度)事業計画(案)について
 平成31年度(2019年度)収支予算(案)について
 報告 : 平成30年度事業執行状況について
 会員数の推移について
 ダム工学会通常総会までの主な日程と予定

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第38回 評議委員会
 日時 : 平成30年 4月26日 15:00～16:00
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議題 : 平成30年度 理事推薦(案)について
 平成30年度 監事推薦(案)について
 平成30年度 評議委員(案)について
 第28回通常総会議案について
- 第39回 評議委員会
 日時 : 平成30年 6月14日
 場所 : 書面にて開催
 議題 : 平成30年度 評議委員(案)について

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下の通り開催した。

1) 企画運営委員会

- 第84回 企画運営委員会
 日時 : 平成30年 4月12日 13:30～15:00
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議題 : 第28回通常総会議案について
- 第85回 企画運営委員会
 日時 : 平成31年2月15日 13:00～15:00
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 議題 : 平成31年度(2019年度)事業計画(案)について
 平成31年度(2019年度)収支予算(案)について
 報告 : 平成30年度事業執行状況について

○ 各小委員会の活動内容

- ① 総務小委員会
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計（会費の徴収を含む）の報告を行った。
- ② 学術研究発表会小委員会
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ③ 講習会小委員会
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ④ 現地見学会小委員会
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。
- ⑤ 広報小委員会
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。
また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
- ⑥ 活性化推進小委員会
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2018、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第114回 編集委員会
日時：平成30年 4月20日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室
議題：学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第115回 編集委員会
日時：平成30年 7月19日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室
議題：学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第116回 編集委員会
日時：平成30年 11月13日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室
議題：学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
- 第117回 編集委員会
日時：平成31年 1月15日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室
議題：学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
日時 : 平成30年5月18日 10:00～
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告、新規課題について

- 第2回 調査研究委員会
日時 : 平成30年12月21日 13:30～
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告、新規課題について

4) ダム工学会賞の関係委員会

- 平成30年度 選考委員会
日時 : 平成31年2月20日 10:00～
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議題 : 技術賞の授賞者選考
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の各候補者選考

- 平成30年度 表彰委員会
日時 : 平成31年3月7日 13:30～
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
議題 : 優秀発表賞、技術賞の授賞者選考経過報告
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の授賞者選考

2. 行事活動

(1) 学術講演会

- 第28回 特別講演会
日 時 : 平成30年 5月17日
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
講 演 : 独立行政法人水資源機構
ダム事業本部 ダム事業部長 日野 浩二 氏
『九州北部豪雨における寺内ダムの防災操作と対応、
ならびに小石原川ダムにおける i-C&M の取り組み』
参加者数 : 115名

(2) 研究発表会（講習会と合同開催）

- 平成30年度 ダム工学会研究発表会
日 時 : 平成30年11月27日 10:10～13:15
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 約100名
発表論文数 : 4編
優秀発表賞 : (優秀発表賞選考委員会での選考)
『衛星SARによるロックフィルダムと貯水池斜面の
変位モニタリング手法に関する研究』
国土技術政策総合研究所
河川研究部大規模河川構造物研究室
研究官 石川 亮太郎 氏

(3) 現地見学会（日本大ダム会議との共催）

- 第44回 ダム工学会現地見学会
日 時 : 平成30年11月1日～2日
実施場所 : 西郷ダム、山須原ダム、上椎葉ダム
参加者数 : 43名

(4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 平成30年度 ダム工学会講習会
日 時 : 平成30年11月27日 13:15～17:00
開催場所 : 星陵会館 2Fホール
参加者数 : 約100名
講 演 : 国土交通省 水管理・国土保全局治水課
事業監理室長 豊口 佳之 氏
「ダム事業に関する最近の話題について」
関西電力株式会社 水力事業本部チーフマネージャー
花木 希樹 氏
「黒部ダムの建設について」
漫画家 羽賀 翔一 氏
「土木業界の仕事・働き方と社会における理解について」

(5) 活性化関連活動

- 平成30年度 北海道地区現場見学会
北海道胆振東部地震が発生したため中止。
- 平成30年度 東北地区現場研修会
開催日 : 平成30年10月2日
見学場所 : 築川ダム
参加者数 : 28名
- 平成30年度 九州地区現場見学会
開催日 : 平成30年10月17日～18日
見学場所 : 耳川水系6ダム、小丸川発電所
参加者数 : 30名
- ダムなんでも相談室
開催日 : 平成30年8月14日～16日
開催場所 : 東京国際フォーラムG棟701
概要 : ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。
来場者数 : 600名
- 第5回 ダムを知るための若手技術者勉強会
開催日 : 平成30年9月3日～4日
開催場所 : 八ッ場ダム建設現場
品木ダム水質管理所
概要 : 堤体コンクリートを打設中のダム建設現場及び河川の中和事業を行う管理ダムの施設等の見学を行うと共に、ダムの基礎知識講座を行った。
参加者数 : 29名 (学生25名)
- with Dam★Night 2018
開催日 : 平成30年6月8日 (金)
開催場所 : 月島社会教育会館 4階ホール
参加者数 : 150名
サブテーマ : 「ダムツーリズム」

プログラム	
	司会 : 中野 朱美 (日本ダム協会)
18:35	開会挨拶
	ダム工学会活性化小委員会委員長 川崎 秀明
18:40	夜嘶1 「うさぎの散歩～滋賀県のダム巡りの勧め～」
	ダムマイスター ピンクのうさぎ
19:05	夜嘶2 「完成前からダムツーリズム～使うために賢くつくる～」
	国土交通省 舛田 直樹
19:30	休憩
19:45	夜嘶3 「ラジコン飛行50年、仙遊の眺め」
	ダム写真家 ダム仙人
20:10	夜嘶4 「洪水吐きダムいろいろ」
	国立研究開発法人土木研究所 箱石 憲昭
20:35	夜嘶5 「ダムを見に行こう」
	ダムマイスター 星野 夕陽
21:20	閉会挨拶
	ダム工学会会長 田代 民治

- with Dam★Night in 仙台 2018
 開催日 : 平成30年11月2日 (金)
 開催場所 : 東北大学土木101大講義堂
 参加者数 : 100名

プログラム	
	司会 : 東北放送 TBC 元アナウンサー 若生 哲旺
18:00 開会挨拶	ダム工学会会長 田代 民治
18:10 夜嘶1 「長井ダムツーリズム」	NPO 最上川リバーツーリズム 代表 佐藤 五郎
18:40 夜嘶2 「ダムだって輝きたい! ~夜空に浮かぶライトアップ~」	ダムマイスター kazu_ma
19:10 夜嘶3 「津軽ダムツーリズム」	西目屋村村長 関 和典
19:40 休憩	
19:50 夜嘶4 「私の愛した 長井ダム、津軽ダム」	ダムマイスター 谷田 広樹
20:20 夜嘶5 「洪水吐き、いろいろ」	国立研究開発法人土木研究所 箱石 憲昭
20:20 閉会	東北大学 京谷 孝史

- with Dam★Night in KIZUGAWA
 開催日 : 平成30年11月14日 (水)
 開催場所 : 名張産業振興センター アスピア 1F ホール
 参加者数 : 116名

プログラム	
17:40 開会挨拶	ダム工学会会長 田代 民治
17:40 1. 木津川の多目的ダム群	(独)水資源機構 佐々原 秀史
18:10 2. 伊賀の里 自然にやさしい ダムづくり	(独)水資源機構 徳永 倫一、柳瀬 有里
18:40 3. 三重県のダム&発電所 ~珍しいの紹介します!~	中部電力(株) 萬濃 秀明
19:10 4. 木津川における中小水力発電の歴史と現状	アサンテ環境研究所 竹尾 敬三
19:40 5. ダムと私の10年	ダム愛好家 くらりん
20:10 ビンゴゲーム	
20:50 閉会挨拶	京都大学 角 哲也
ダム関連パネル展示	
平成30年10月22日(月)~29日(月) (計8日間) : ハイピア伊賀5階 平成30年11月1日(木)~9日(金) (計9日間) : 名張市役所1階ロビー	
スペシャルツアー	
13:00~17:00 川上ダム、比奈知ダム、青蓮寺ダム	

- with Dam★Night in Okayama 2018
 開催日 : 平成30年9月26日 (水)
 開催場所 : ピュアリティまきび
 参加者数 : 125名

wDN プログラム	
	総合司会 阪上 彰子 (フリーアナウンサー)
14:00	1. 開会あいさつ 小谷 裕司 (建設コンサルタンツ協会中国支部副支部長)
14:05	2. 「ダムの新たな役割と課題」 阪田 憲次 (岡山県コンクリート技術センター代表理事、岡山大学名誉教授)
14:35	3. 「歴史的視点でダムの用強美を語る」 川崎 秀明 (ダム技術センター首席研究員)
15:05	4. 「ダムカレーの聖地・新見」 仲田 芳人 (にいみライスカレー協会事務局次長) (休憩 15:25~15:50※)
15:50	5. 討論会「女性の視点でダム (土木) を語る」 中野 朱美 (日本ダム協会参事) 小林 さおり (岡山県土木部主幹)
16:50	6. 閉会あいさつ 樋之津 和宏 (岡山県土木部長)
※休憩時間 (15:25~15:50) には、新たな計測技術 (AUV 他) について別室にて展示・説明。全国ダムカード、にいみダムカレーカードパネル展示 13:30~17:00	

- with Dam★Night in Kyusyu
 開催日 : 平成30年11月17日 (土)
 開催場所 : 天神スカイホール・メインホールB
 参加者数 : 200名

wDN プログラム	
	司会 : FM 福岡 DJ & パーソナリティー kaede
15:00	開会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 会長 大塚 久哲
15:05	来賓挨拶 ダム工学会会長 田代 民治
15:10~	講演 (1) 佐伯市とダムカレー 元・佐伯市地域おこし協力隊 志内 亜紗美
	講演 (2) 伊良原ダム周辺の整備状況について みやこ町 元松 愛文
	講演 (3) 日本を元気にするカギはダムにあり (独)水資源機構 元永 秀
16:55~	イベント (1) 2018 wDN in Kyushu 「ダム jackpot」 FM 福岡 DJ & パーソナリティー kaede ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 山田 徹
17:25~	イベント (2) 2018 九州ダムフォトコンテスト審査発表 応募総数 22 点 最優秀賞 1 点 優秀賞 1 点 ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 酒井 匠
17:45	閉会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会 委員長 太田 達雄

3. 研究活動

(1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の8部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

① コンクリートダム研究部会

竣工後50年以上経過したダム施設を対象に計測や補修履歴など、どのような管理データが収集可能であるか現状を把握した。その上で、ダム施設を選定し、劣化の傾向等を確認しながら第IV期の設定、また計測の頻度など、提言内容を検討した。

○ 第1回 コンクリートダム研究部会
期 日 : 平成30年11月6日
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室

○ 第2回 コンクリートダム研究部会
期 日 : 平成31年1月25日
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室

② フィルダム研究部会

「我が国のフィルダムの技術的変遷」について、代表ダムを選定する指標、例えばダム形式、新規建設・再開発、適用した設計基準、及び施工方法などを検討した。

○ 第1回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成30年5月28日
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室

○ 第2回 フィルダム研究部会
日 時 : 平成30年9月14日
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室

○ 第3回 フィルダム研究部会(現地調査)
日 時 : 平成30年12月7日
場 所 : 安威川ダム

③ 地質・基礎研究部会

「ダム(堤体、貯水池周辺斜面)の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行うと共に、新規研究テーマについて検討した。

○ 第1回 地質・基礎研究部会
日 時 : 平成30年6月22日
場 所 : 八千代エンジニアリング(株) 本社

- 第2回 地質・基礎研究部会（現地調査）
日 時 : 平成30年9月28日
場 所 : 川俣ダム
- 第3回 地質・基礎研究部会
日 時 : 平成30年11月9日
場 所 : (株)安藤ハザマ 本社
- 第4回 地質・基礎研究部会
日 時 : 平成31年2月16日
場 所 : 八千代エンジニアリング(株) 17階第1応接室

④ 維持管理研究部会

「ダム貯水池の有効利用等に関する事例研究」の成果をダム工学に投稿すると共に、「水源地活性化講習会」で発表した。また、本年度テーマ「ダム貯水池の堆砂の有効利用等に関する研究」について、堆積土砂の河川還元や他への活用に関して事例を収集すると共に、現地調査を行いダム管理者と意見交換を実施した。

- 第1回 維持管理研究部会
日 時 : 平成30年5月22日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第2回 維持管理研究部会
日 時 : 平成30年8月22日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 維持管理研究部会（現地調査）
日 時 : 平成30年11月12日～13日
場 所 : 長安口ダム、早明浦ダム、柳瀬ダム
- 第4回 維持管理研究部会
日 時 : 平成31年3月15日
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

⑤ 施工研究部会

コンクリートダムの施工時に堤体に発生したひび割れに着目して事例収集と対応策について研究し、部会報告「コンクリートダム施工中のひび割れ事例集」としてとりまとめ、ダム工学に投稿した。また、新規研究テーマについて検討した。

- 第1回 施工研究部会
日 時 : 平成30年4月16日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 施工研究部会
日 時 : 平成30年7月17日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

- 第3回 施工研究部会
日 時 : 平成30年9月18日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
 - 第4回 施工研究部会
日 時 : 平成30年12月14日
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- ⑥ 計測管理研究部会 (平成30年度終了)
計測管理研究部会と山口大学とで実施している交流研究事業の終了報告案の執筆とその内容についての確認を行った。また、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入技術資料(仮題)」のとりまとめを行った。
- 第1回 計測管理研究部会
日 時 : 平成31年3月5日
場 所 : 国際航業(株) 会議室
- ⑦ ダム技術史研究部会
ダム型式ごとに江戸時代以降の要素技術の進展に伴うダム技術史のとりまとめ及びダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を行った。
- 第1回 ダム技術史研究部会WG
日 時 : 平成30年7月19日
場 所 : (株)奥村印刷
- ⑧ ダム貯水池課題研究部会
ダム再生に係わる情報を、国交省HP、その他関連団体HP、各種新聞・雑誌等から収集すると共に、関連団体と情報交換を行いながら、研究方針を検討した。合わせて、「ダムの科学(改訂版)」のダム再生に係わる部分の執筆作業を行った。
- 第1回 ダム貯水池課題研究部会
日 時 : 平成30年10月11日
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室
 - 第2回 ダム貯水池課題研究部会
日 時 : 平成31年2月5日
場 所 : (一財)ダム技術センター F会議室

(2) 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の3テーマについて継続した。

- ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究（継続）
研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 溝渕 利明教授
研究フィールド 全国各地域から最近完成した35ダムを選定

- GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究（継続、平成30年度終了）
研究者 山口大学大学院理工学研究所 清水 則一教授
研究フィールド 国土交通省中国地方整備局 尾原ダム等のコンクリートダム

- コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究（継続）
研究者 首都大学東京 都市環境科学研究科 大野 健太郎助教
研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 矢木沢ダム等

4. その他

平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）について、西日本豪雨災害の緊急報告会においてダム工学会角理事（京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター教授）より報告を行った。

日 時 : 平成30年9月10日
場 所 : 日本学術会議講堂
主 催 : 日本学術会議防災減災学術連携委員会
土木工学・建築学委員会、防災学術連携体
題 名 : ダムの洪水調節効果と異常洪水時防災操作の課題

5. 出版活動

学会誌「ダム工学」

平成30年度は、4回の会誌発行を行った。また、平成31年3月号には、西日本豪雨災害に関して「技術報告（題名；平成30年7月豪雨でのダム治水操作と今後の課題）」を掲載した。

VOL. 28 No.2 平成30年 6月15日発行

VOL. 28 No.3 平成30年 9月15日発行

VOL. 28 No.4 平成30年12月15日発行

VOL. 29 No.1 平成31年 3月15日発行

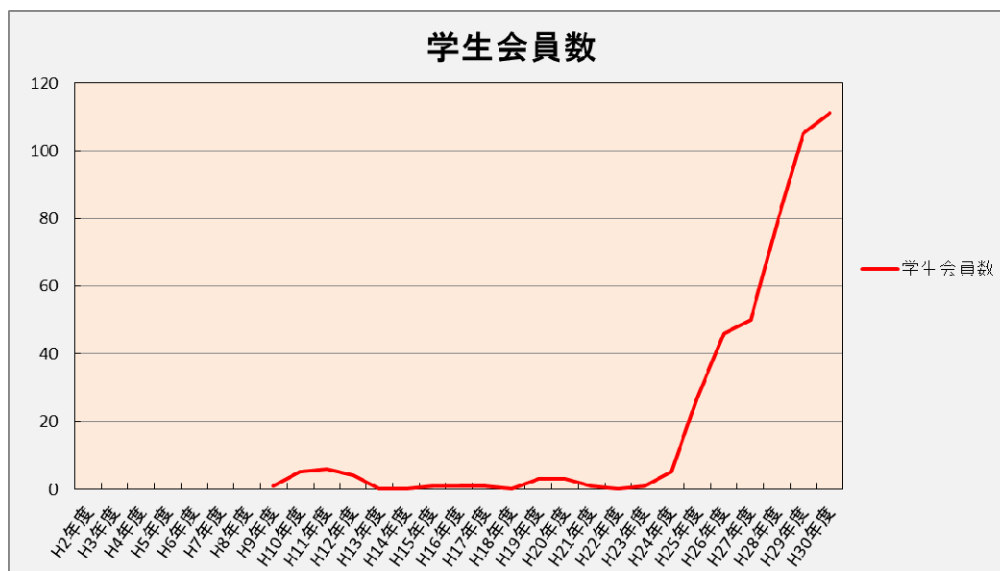
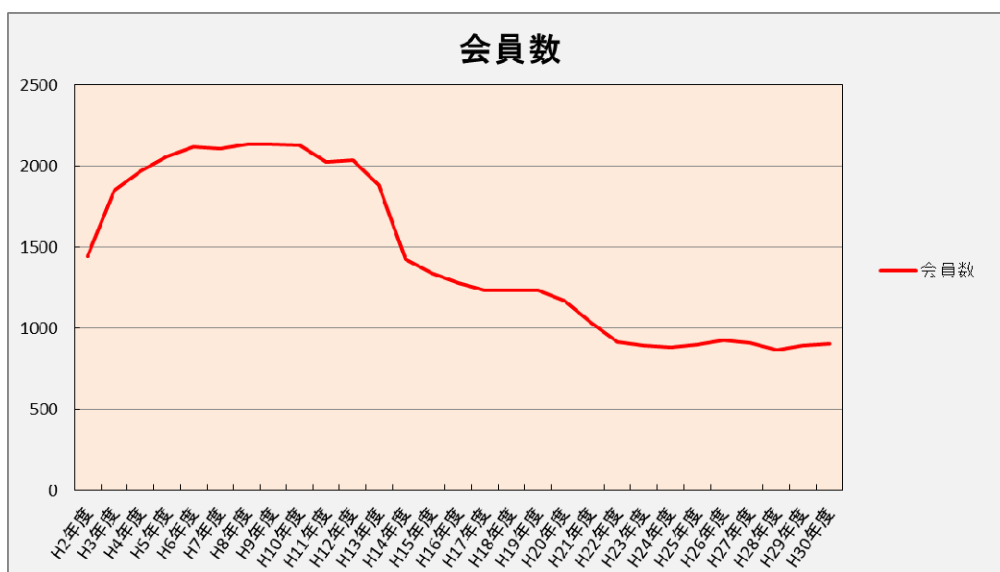
6. 会員入会状況

(1) 会員数等の推移

会員数

※会員数は年度末現在の値

会員種別	平成29年度	平成30年度	備考
正会員	691名	700名	9名増
シニア会員	96名	93名	3名減
学生会員	105名	111名	6名増
合計	892名	904名	12名増
賛助会員	50社	51社	1社増



(2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会で「第5回ダムを知るための若手技術者勉強会」を開催し、参加した学生に入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象として通常総会案内時を通じて正会員への移行を呼びかけた。

平成30年度 収支決算報告

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

議案 2

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,250,000	11,461,264	△ 211,264	
①正会員会費	3,500,000	3,711,264	△ 211,264	622口(手数料¥20,736差引)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	250,000	100,000	150,000	3万(2口)+4万(1口)
④賛助会員会費	7,500,000	7,650,000	△ 150,000	153口
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,255,000	2,437,000	△ 182,000	
①総務小委員会収入	370,000	516,000	△ 146,000	
②研究発表会収入	200,000	198,000	2,000	平成30年度 研究発表会講習会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,188,000	27,000	現地見学会参加費
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	0	0	
⑥活性化推進収入	470,000	535,000	△ 65,000	
若手の会	150,000	143,000	7,000	ダムを知るための若手技術者勉強会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	0	20,000	災害のため未実施
東北ブロック	0	15,000	△ 15,000	現地見学会参加費
中部近畿ブロック	150,000	213,000	△ 63,000	with Dam Night in Kizugawa参加費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	164,000	△ 14,000	with Dam Night in Kyusyu懇親会参加費
With Dam Night 2018	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	平成30年度終了
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,715,000	1,819,292	△ 104,292	
①会誌一般頒布収入	360,000	330,000	30,000	
②会誌広告料	1,250,000	1,200,000	50,000	
③抜刷別刷収入	75,000	246,240	△ 171,240	
④その他収入	30,000	43,052	△ 13,052	JST和文抄録利用料
4. 図書出版事業収入	30,000	46,846	△ 16,846	フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,051,000	1,050,028	972	
①補助金収入	1,050,000	1,050,000	0	大ダム会議(¥50,000) CMED会(¥200,000) 九州地方計画協会(¥800,000)
②受取利息	1,000	28	972	
小計(1～5計)	16,301,000	16,814,430	△ 513,430	
6. 前年度繰越金	14,569,482	14,569,482	0	
合計(小計+6)	30,870,482	31,383,912	△ 513,430	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,105,000	8,279,771	2,467,379	
①研究発表会支出	810,000	977,320	△ 167,320	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,315,000	1,336,308	△ 21,308	現地見学会小委員会 (大ダム会議と共同開催)
③講習会支出	250,000	231,506	18,494	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,150,000	918,487	231,513	表彰・選考委員会 経費
⑤広報支出	90,000	88,344	1,656	広報小委員会
⑥活性化推進支出	5,110,000	4,578,745	531,255	活性化推進小委員会
若手の会	1,350,000	1,384,240	△ 34,240	若手技術者勉強会 経費
ダムなんでも相談室	650,000	602,927	47,073	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	320,000	540	319,460	災害のため未実施
東北ブロック	450,000	380,305	69,695	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中部近畿ブロック	580,000	354,509	225,491	with Dam Night・ 「ダムの科学」出版準備会 経費
中国四国ブロック	290,000	253,916	36,084	with Dam Nigh 経費
九州ブロック	1,270,000	1,366,006	△ 96,006	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
with Dam Night 2018	200,000	236,302	△ 36,302	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	1,380,000	149,061	1,230,939	
コンクリートダム研究部会	200,000	864	199,136	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	100,000	17,496	82,504	
維持管理研究部会	70,000	70,043	△ 43	現地見学会 経費
施工研究部会	50,000	0	50,000	
計測管理研究部会	160,000	1,296	158,704	残高証明発行手数料 平成30年度終了
ダム技術史研究部会	100,000	1,512	98,488	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	100,000	0	100,000	
交流研究連絡会議	600,000	57,850	542,150	交流研究補助金1テーマ分
2. 刊行支出	4,400,000	4,535,995	△ 135,995	
①会誌作成費	4,400,000	4,535,995	△ 135,995	発送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑩計)	2,090,000	2,142,189	△ 52,189	
①会場費	400,000	450,250	△ 50,250	第28回総会 経費等
②会議費	680,000	775,920	△ 95,920	第28回総会 経費等
③印刷製本費	300,000	143,640	156,360	第28回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	200,000	104,000	96,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	0	89,220	△ 89,220	事務局HDD購入費
⑥通信費	100,000	161,885	△ 61,885	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	60,000	67,164	△ 7,164	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	170,000	202,820	△ 32,820	会計顧問報酬・登記簿本手続き代 行手数料
⑩雑費	150,000	114,841	35,159	ダム日本購読料, 日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	30,000	32,449	△ 2,449	ダム工学会からの諸謝金に対する 源泉徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	16,695,000	14,957,955	1,737,045	
6. 繰越金	14,175,482	16,425,957	△ 2,250,475	
合計 (小計+6)	30,870,482	31,383,912	△ 513,430	